

32

社会福祉法人
えびの市社会福祉協議会

珠玉の一言：「感謝」普通を普通と思わない



好きな言葉・四字熟語はありますか？という質問に「焼肉定食！」と答えたのは、えびの市中部在宅介護支援センターでソーシャルワーカーとして働く矢野香織さん。「沢山の人の役に立ちたい！」と話し、柔らかな雰囲気を生み出し、一瞬で笑いを引き起こした。インタビューする私たちまで幸せな気分になる。休日は音楽を聞いたり、ためていたドラマを見たりしてダラダラ過ごすことが好きだと言う。ところがソーシャルワーカーの仕事をしている時は、困りごとを持っている人の相談を受けたり、何かあった時に頼ってもらえたりする事が働きがいになると話しており、

責任感や使命感に溢れていた。

矢野さんは、福祉専門学校を卒業した後、しばらくは福祉とは関係の無い仕事をしていましたが、人の役に立ちたいという強い想いから、22年前に現在の職場についたそう。高齢者の実態把握や相談を受ける中、長年病院に行きながらなかった方々が、病院に通えるようになった時、重体の患者さんの命を救えた時に、大きな働きがいを感じたという。

矢野さんは「全ての事に感謝する」と話す。「何かあるから感謝する」のではなく、今歩けていることも、話せていることも、日々を当たり前で過ごせていることが感謝するべき、大切なことだという。これからは、運動に挑戦し、健康かつ人の役に立てるよう、働きたいと熱く語った。

（取材：1年 牧野・宮下・的場）

会社概要

地域福祉活動を中心に、介護保険事業・障害者児相談支援・ボランティアセンター事業・高齢者配食サービス事業・こども宅食や各種相談への対応など幅広く支援を行っています。

代表者／会長 瀬戸崎 恵子
設立／昭和47年8月2日
所在地／えびの市大字栗下67
えびの市総合福祉センター
ふれあい館（えびの市栗下68）
従業員／46人（市内出身者44人）

